

感動と勇気をありがとう

ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピック出場者報告会

3月2日、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックのフリースタイルスキー・ハーフパイプに出場した桐山菜々穂さん（ヒマラヤSNOWCLUB）、松浦透磨さん（岐阜日野自動車スキークラブ）の報告会を開催しました。

桐山さんは「自分らしい滑りができ、実力を出し切ることができた。長年続けてきた競技を多くの方々に応援していただき、嬉しかった」と話し、この大会で得た経験などを語りました。

また松浦さんは「人生で1番良い滑りができた。とても緊張したが、緊張も楽しむことができた」と話し、この大会で得た経験などを語りました。

町長は「2人ともチャレンジャーとして素晴らしい滑りだった。次の目標に向かって頑張ってください」と述べました。



▲左から松浦さん、桐山さん



▲協定書を手にする加藤代表取締役社長オーナー代行

活力ある個性豊かなまちづくりのために

株式会社中日ドラゴンズとパートナーシップ協定を締結

3月19日、町と株式会社中日ドラゴンズは「パートナーシップ協定（相互支援協定書）」を締結しました。町におけるスポーツ振興を基軸とした活力ある個性豊かなまちづくりを推進することを目的に、双方が持つ資源を活用し、スポーツ、健康増進、教育、まちづくり等の振興に関することなど、幅広く取り組みます。

締結式で、加藤宏幸代表取締役社長オーナー代行は「野球界が取り組んでいる野球振興が、色々な形で大野町と築き上げられることに希望がいっぱいである。今後ともこの活動に大野町にご協力をいただき、さらに充実した活動にしていきたい」と述べると、町長は「スポーツの普及・振興はもとより、青少年の健全育成、地域コミュニティの活性化、さらには大野町の魅力発信など、幅広い分野において連携を深め、継続的で実効性のある取り組みを進めていきたい」と述べました。

企業版ふるさと納税寄付目録・感謝状贈呈式を開催

丸菱商事株式会社

3月26日、企業版ふるさと納税寄付目録・感謝状贈呈式を開催し、丸菱商事株式会社渡邊峰夫代表取締役社長より、300万円の寄付をいただきました。あいさつの中で、渡邊社長は「『快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの』の取組に少しでもお役に立てればという思いで、今回寄付をさせていただきました」と経緯を述べられ「これからも一頭でも良い飛騨牛を生産するとともに、地域社会を構成する企業のひとつとして、よりよいまちづくりに参画していければと考えております」と述べました。町長は「御社が大野町を思い、寄付をいただけたことを大変嬉しく思います。有効に活用させていただきます」とお礼を述べました。



▲川手取締役経営企画部長（左）、渡邊取締役LPG事業部長 事業開発部長（中央左）、渡邊代表取締役社長（中央）、若原岐阜畜産研究所職員（右）



▲テープカットの様子



▲内覧会の様子

“未来色”に輝く子どもたちのために

みらいろこども園の竣工式および内覧会

3月14日、みらいろこども園の竣工式および内覧会を開催しました。竣工式には多数の来賓に出席いただき、町長による式辞、来賓祝辞、事業者への感謝状贈呈、西こども園の年長児による合唱、テープカットを行いました。午後からは内覧会を開催し、地域の皆さんや卒園児など多数の来場をいただきました。この新園舎、そして「大野町みらいろこども園」が、これからの町の未来を担う子どもたちの健やかな成長の場となるよう職員一同努力してまいります。

新園舎の竣工にあたり、ご協力いただきました全ての関係者の皆さん、本当にありがとうございました。



消防車両が寄贈されました

一般社団法人 日本損害保険協会

一般社団法人 日本損害保険協会から「小型動力ポンプ付軽消防自動車」1台が寄贈されました。

日本損害保険協会は、地域の防災力を高めることを目的として、全国の自治体に対し、消防資機材の寄贈を行っており、同協会へ申請したところ、大野町が選定されました。

寄贈された消防車両は、軽四輪駆動車ベースのデッキバンタイプで、悪路や狭い道路でも迅速な活動が期待されます。

なお、寄贈された消防車両は、大野町消防団第6分団に配備され、地域の消火活動や防災活動に活用されます。



▲消防車両の配置式の様子（3月8日）

防火・防災の誓いを新たに

令和8年度 消防団入退団式

3月29日、消防団入退団式が大野町役場で開催され、令和7年度末をもって退団された団員へ感謝状を贈るとともに、新入団員47人に辞令が交付されました。式では消防団新入団員代表者が力強い宣誓を行い、防火・防災への誓いを新たにしました。

消防団員はそれぞれの仕事の傍ら、日夜訓練に励み、昼夜を問わず火災などの災害に出動されています。

町では防火・防災の要である消防団に対し深く感謝するとともに、今後も力をあわせ「安全・安心なまちづくり」を推進していきますので、皆さんの温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



▲新入団員による宣誓の様子

令和8年度 町消防団 役員一覧

消防団幹部					
団長	山口 タケル	副本部長	國枝 英城		
副団長	平野 一也	副本部長	杉山 博雅		
本部長	長沼 史泰	副本部長	稲月 一至		
本部長	野村 恵一	副本部長	岩崎 直之		
		副本部長	田神 聰志		
本部分団			第1分団		
分団長	佐藤 久晃	分団長	水野 友哉		
第2分団			第3分団		
分団長	中川 翔太	分団長	小笠原 保		
第4分団			第5分団		
分団長	小森 和哉	分団長	村橋 寛		
第6分団					
分団長	恩田 秀徳				

力強く健闘を誓う

全国・東海大会出場者激励会

3月9日「第20回全国中学生空手道選抜大会」「第26回東海ブロック中学生バレーボール新人大会」「第35回東海地域小・中学生ソフトボール新人大会」に出場する選手の激励会を開催しました。

はじめに、松久さんは「初めての全国大会ですが、練習の成果を出し切って、1回でも多く勝ちたい」と強く述べました。

続いて、成瀬さんは「県大会優勝の勢いで、上位になれるように頑張りたい」と決意を述べました。

最後に、山川さんは「チームに貢献できるように頑張って、1つでも多く勝ち残りたい」と意気込みを述べました。

町長は「大会では、緊張すると思いますが、良い成績が得られるように頑張ってください」と激励しました。

出場する選手は、次のとおりです。（敬称略）

○第20回全国中学生空手道選抜大会

大野中学校1年 松久 弘渡

○第26回東海ブロック中学生バレーボール新人大会

大野中学校2年 成瀬 桃花

○第35回東海地域小・中学生ソフトボール新人大会

大野中学校2年 山川 楓



▲左2番目から山川さん、成瀬さん、松久さん

県からの派遣職員の紹介



名前 **片野 準也**
(建設部調整監)

大野町のさらなる魅力向上と、住みよいまちづくりに貢献できるよう、一歩ずつ着実に取り組んでまいります。



名前 **古川 雄貴**
(教育委員会みんなで創る学校づくりプロジェクト推進室主幹)

未来のこどもたちにつながる素敵な学校づくりをめざして、教員の経験を活かしながら頑張りたいと思います。



よろしくお願いします！新人職員です。



高橋 佑介 (総務部総務課)
町民の皆さんがより良い暮らしができるよう精一杯頑張ります。

村瀬 玄多 (教育委員会生涯学習課)
一日でも早く仕事を覚え、町民の皆さんのお役に立てるよう精一杯頑張ります。

高橋 壮汰 (民生部子育て支援課)
業務を早く覚え、町民の皆さんのお役に立てるよう精一杯働きます。

丹羽 優莉杏 (建設部農林課)
一日でも早く業務に慣れ、大野町のために一生懸命、頑張ります。

牧野 ななみ (教育委員会学校教育課)
より良い大野町にするために、精一杯頑張っていきます。

坂 美岬 (会計課)
町民の皆さんのお役に立てるよう、精一杯頑張ります。

長寿のお祝い

95歳おめでとうございます
これからも健やかに



杉浦 一満さん (桜大門)



所 政子さん (西方)



田中 美和子さん (桜大門)



若原 良子さん (中之元)



さよなら西こども園 ～長い間、ありがとう～

閉園を迎え、さよならイベントを開催しました。

3月28日、閉園する西こども園にて閉園式およびさよならイベントを開催しました。西こども園は3月31日をもって閉園し、4月からはみらいこども園に場所を変え、新たなこどもたちの生活が始まりました。西こども園は昭和28年に開園してから令和8年3月の閉園までの約73年間、地域の皆さんに見守られながら沢山のこどもたちを送りだしてきました。当日は卒園生や地域の皆さん、歴代の園長先生等、園にゆかりのある多くの方が来園され、懐かしい園舎で記念撮影をしたり、保育士の先生や仲間と古いアルバムや写真を見ながら思い出を語ったり、園舎に思い出のメッセージを残すなど、素敵な時間を過ごしていました。また、保育士によるワークショップなどの催しにもこどもたちは楽しそうに参加していました。西こども園は閉園しますが、皆さんの心の中や思い出として残り、新園に引き継がれていきます。

西こども園に携わっていただいた全ての関係者の皆さん、本当にありがとうございました。



▲懐かしい思い出を振り返る卒園生たち



▲ワークショップを楽しむこどもたち



▲さよならイベントのオープニングセレモニーでのバルーンリリースの様子